

事業シート（概要説明書）						
仕分対象事業名（個別事業名）		デイ銭湯事業				
中事業名		社会参加・生きがい対策事業	担当部・課名	健康福祉部高齢者いきいき課		
総合計画上の位置付け（分野名）		健康福祉	担当名	いきいき福祉担当		
事業開始年度	平成13年度	根拠法令	鎌倉市いきいき事業実施要綱			
実施方法	直接実施					
	業務委託又は指定管理（委託先：鎌倉市公衆浴場業生活衛生同業組合）					
	補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体： ）					
	貸付（貸付先： ） その他（ ）					
事業概要	目的 （何のために）	介護予防とともに高齢者の社会的孤独の解消、心身機能の向上、社会参加のきっかけづくりとし、もって高齢者の健康と生きがいづくりの推進を目的とする。				
	対象 （誰・何を対象に）	概ね60歳以上の市民で介護認定を受けていない者				
	事業内容 （手段、手法など）	地域に密着している公衆浴場（銭湯5か所）を会場とし、健康チェックや高齢者向けの体操、入浴、レクリエーションなどのサービスを提供する。 3か月を1クールとして、1クール10回。定員は15名程度。 年間40クール、400回実施。 （平成22年度から1クール8回に変更。）				
	事業の必要性	高齢者の引きこもりを防止するとともに、高齢者の健康の維持・向上と生きがいづくりに寄与しており、今後も継続が必要な事業である。				
コスト	平成22年度		人件費内訳		従事職員数	
	事業費	17,601 千円	}	職員構成		平均人件費 ×従事職員数
	人件費	2,978 千円		担当正職員	2,777 千円	0.3 人
	総計	20,579 千円		臨時職員他	201 千円	0.2 人
事業費 （財源内訳・ 単位千円）	年度	総額	補助対象事業の全体経費に対する 市の負担（支出）割合		平成22年度予算の財源内訳	
	H19(決算)	21,224	-		国補助金 0	
	H20(決算)	22,050	-		県補助金 0	
	H21(決算見込)	21,381	-		起債 0	
	H22(予算)	17,601	-		一般財源 17,601	
平成22年度 事業費内訳	委託料17,601千円 ・浴場使用料 9,600千円 ・講師謝礼等人件費 6,080千円 ・事務費 1,921千円					

活動実績	【活動指標名】 / 年度実績・評価	単位	H19年度	H20年度	H21年度
	実施回数	回	372	400	400
	延べ定員数(1回定員 15人)	人	5,580	6,000	6,000
	延べ参加人数	人	3,920	4,551	4,628
単位当りコスト (事業費/活動指標)	委託料 / 延べ参加人数	円	5,414円	4,845円	4,620円
成果目標 (現状の成果及び今後どのようにしたいか、定量的な評価で示す)	平成13年度の事業開始以来、参加者の方からは好評を得られているものの、参加率(定員に対する参加人数の割合)が概ね70~80%で止まっている。事業の内容の充実を図るとともに、より多くの市民に認知していただき、参加率を上昇させ90%以上を目指す。				
成果実績 (成果指標の目標達成状況等)	【成果指標名】 / 年度実績・評価	単位	H19年度	H20年度	H21年度
	参加率(年間延べ参加人数/述べ定員数)	%	70	76	77
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	参加者からは好評で、介護予防・生きがいづくりにも大変有効である。今後も事業を充実させていきたい。 一方、浴場を実施場所としていることから、1回ごとの定員を15名程度とせざるを得ず、参加者数を飛躍的に伸ばすことは難しい。また、浴場5か所が材木座の1か所を除くと全て大船地区にあり、地域差が生じている。 参加者は地域に関係なく参加しているが、事業を継続していく上で、地理的な不公平感をどのように解消していくかが大きな課題である。				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	川崎市・・・ふれあいデイセントリー事業 H21 補助金9,305千円 内容 市から社会福祉協議会に補助金を交付し、地域の市民活動団体が主体となって浴場を会場にデイサービス事業を行う場合に、社会福祉協議会から団体に対して助成をしている。				
特記事項 (事業の沿革等)	平成13年度に介護予防の観点から事業を開始しており、当初3年間は国の補助金も交付されていた。国の補助金が廃止になっても、高齢者にとって必要かつ有効な事業として市単事業で継続実施している。				